

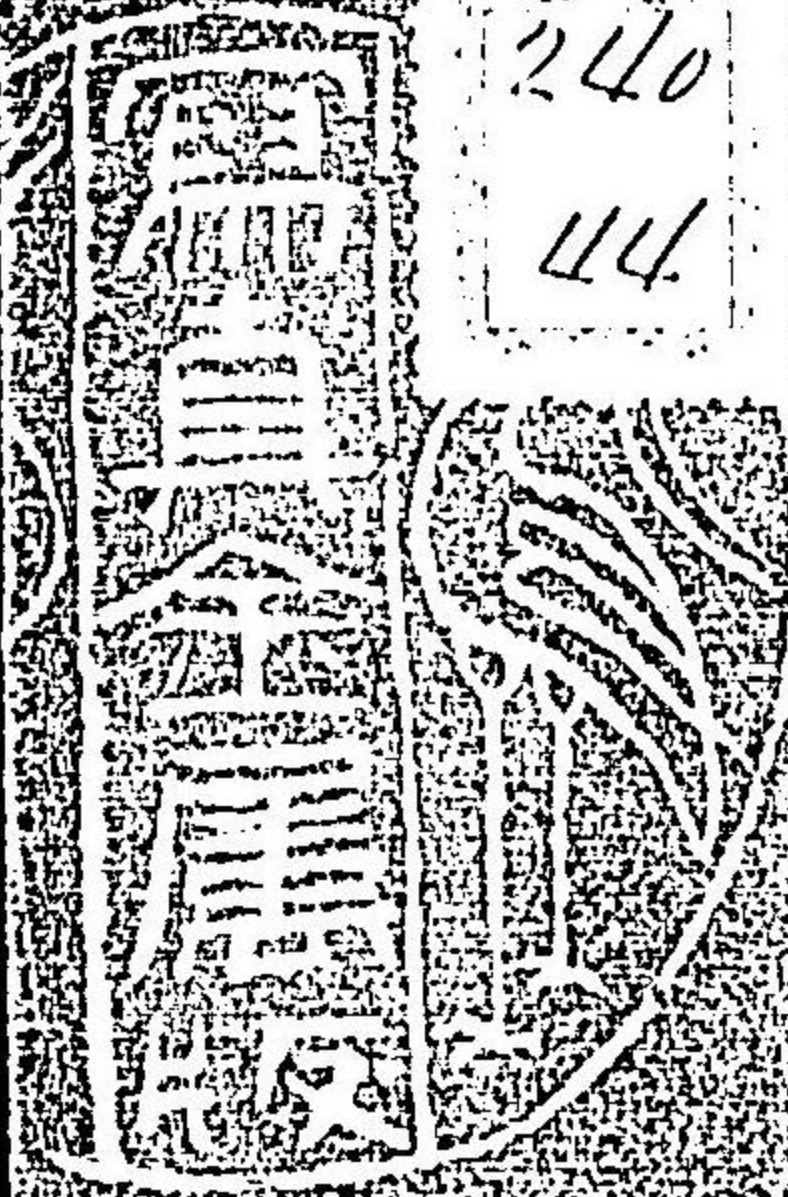


書訣

上編第一卷

240

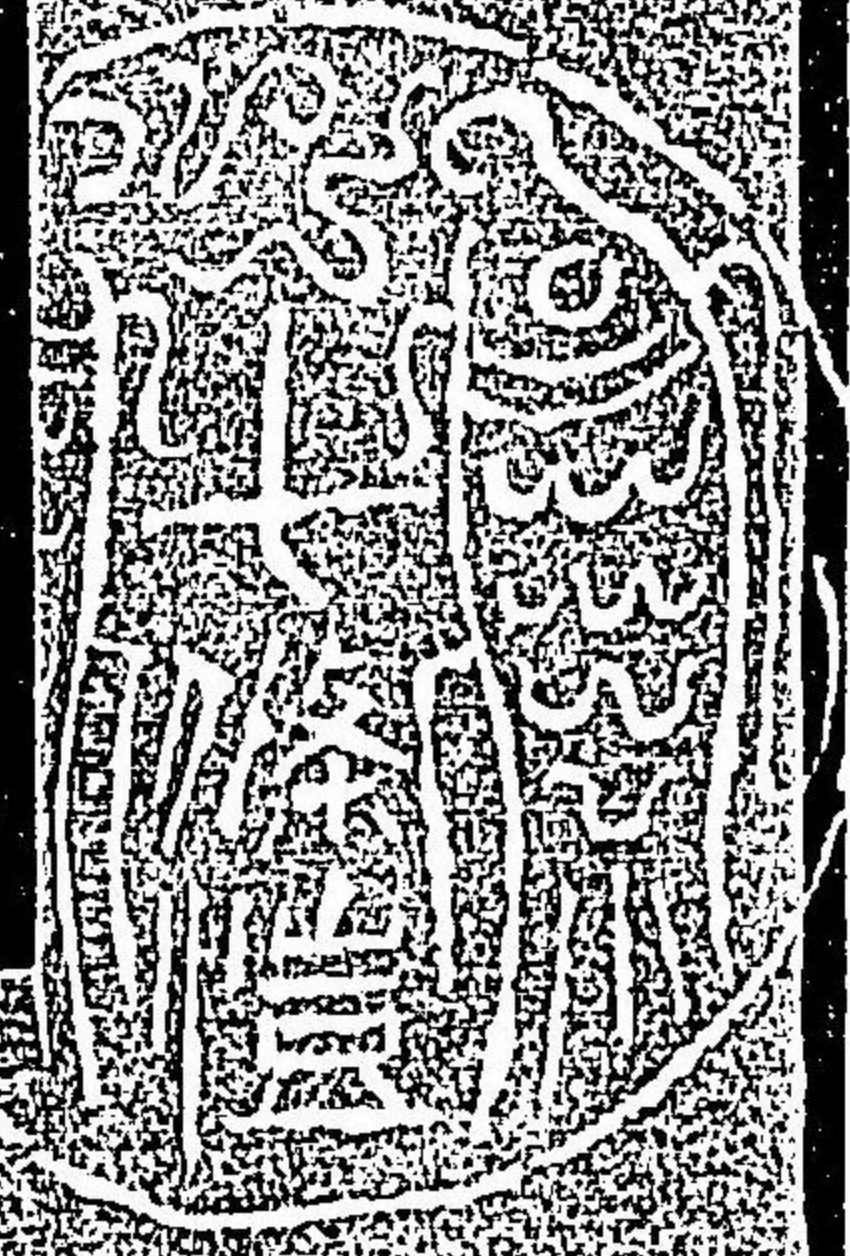
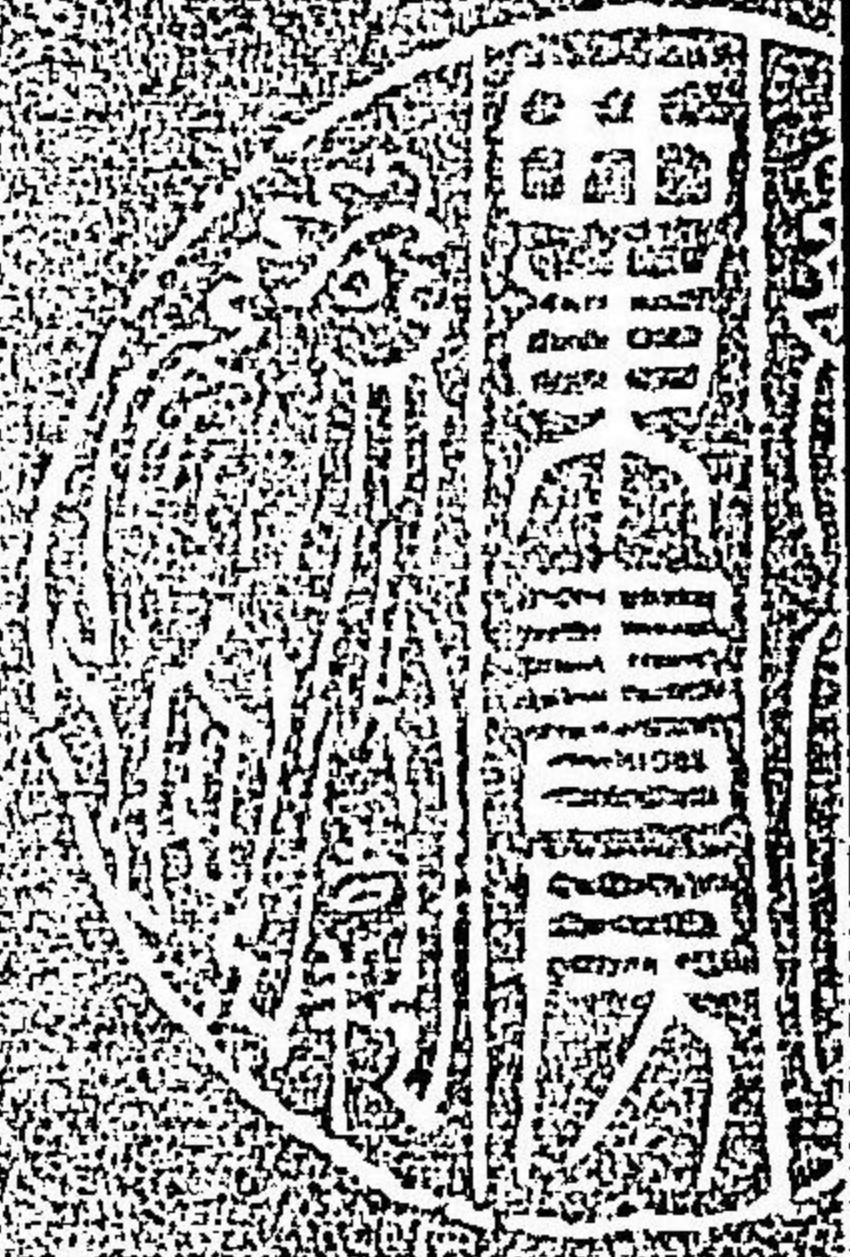
44



書訣

上編第二卷

默鳳道人著



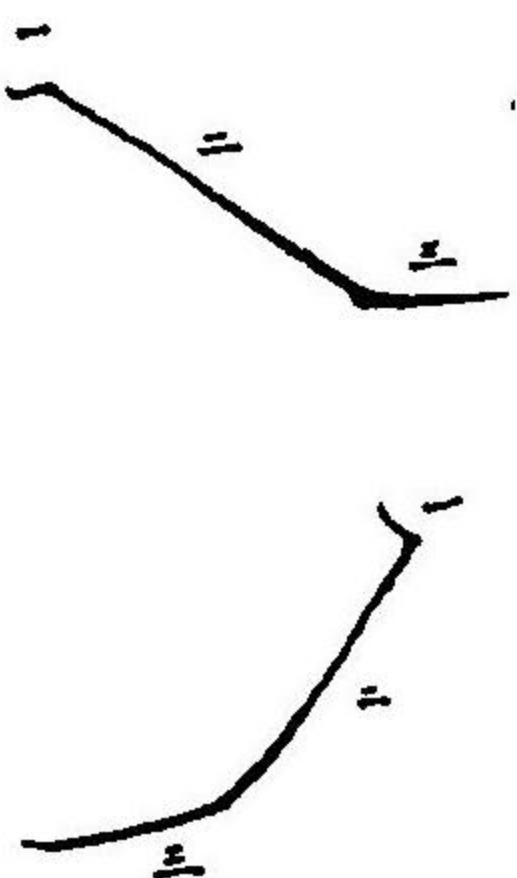
點画道人回圖述



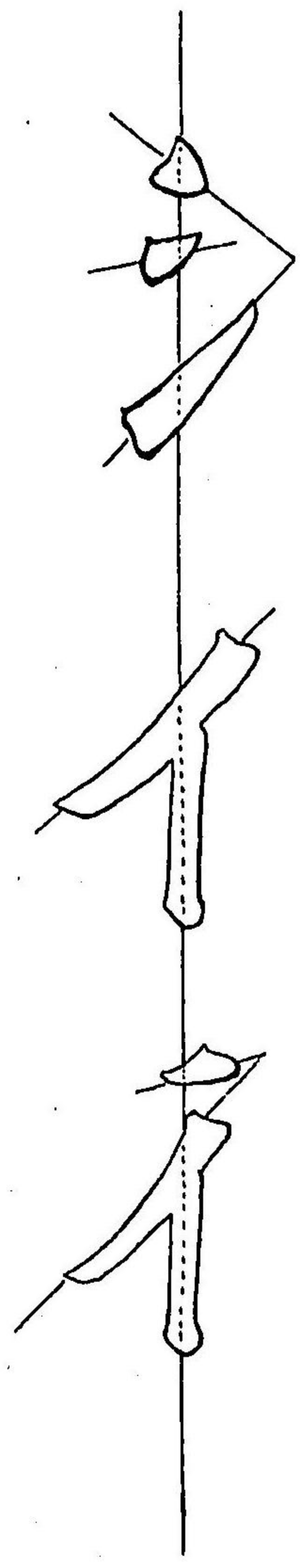
ト。注意ヲ要スルハ二點以上配列スルモノハ毎點其
 左ニ掲ゲマスガ此モ十分ニ習熟セラレ
 於テ最モ



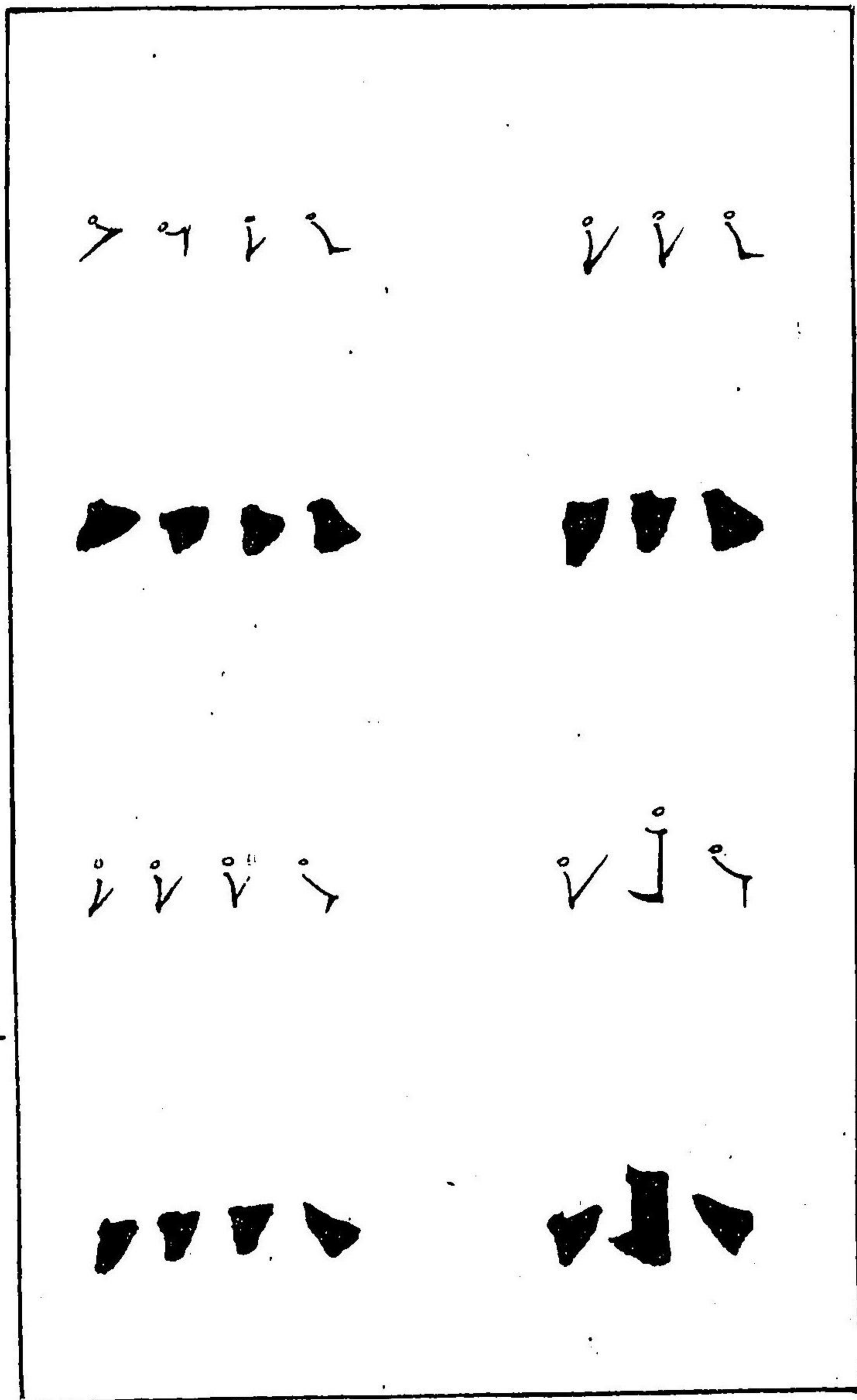
右ノ上點ハ殆ンド左ニ向ヒ中ハ微シ斜ニ下ハ全ク斜ニ左ニ向フヲ
 躍出シ三水モ三點共ニ其趣キヲ異ニシ列火モ
 亦夕四點共ニ異ニスルハ左ノ骨法ニ就テ了セ
 ラレタリ其レカラ書法ニ一波三折ト云フコト
 ガアル此モ左ノ點畫中ニ在ルガ下ニ其因ヲ



水字八法。上ヲ磔ト謂ヒ。下ヲ掠ト謂フ。又ク上ヲ發波。下ヲ分發トモ謂ヒマス。王羲之ノ言ニ。每作一波常三過折筆トハ此ノ事デアリマスガ。八分及ビ楷書ニハ大概此法ヲ用フルノデス。偏傍中デ取モ位置ノ六ツガシキモノハ。三水人偏行人偏デ有ルガ。左ニ其位置ノ取り方ヲ示シマス。

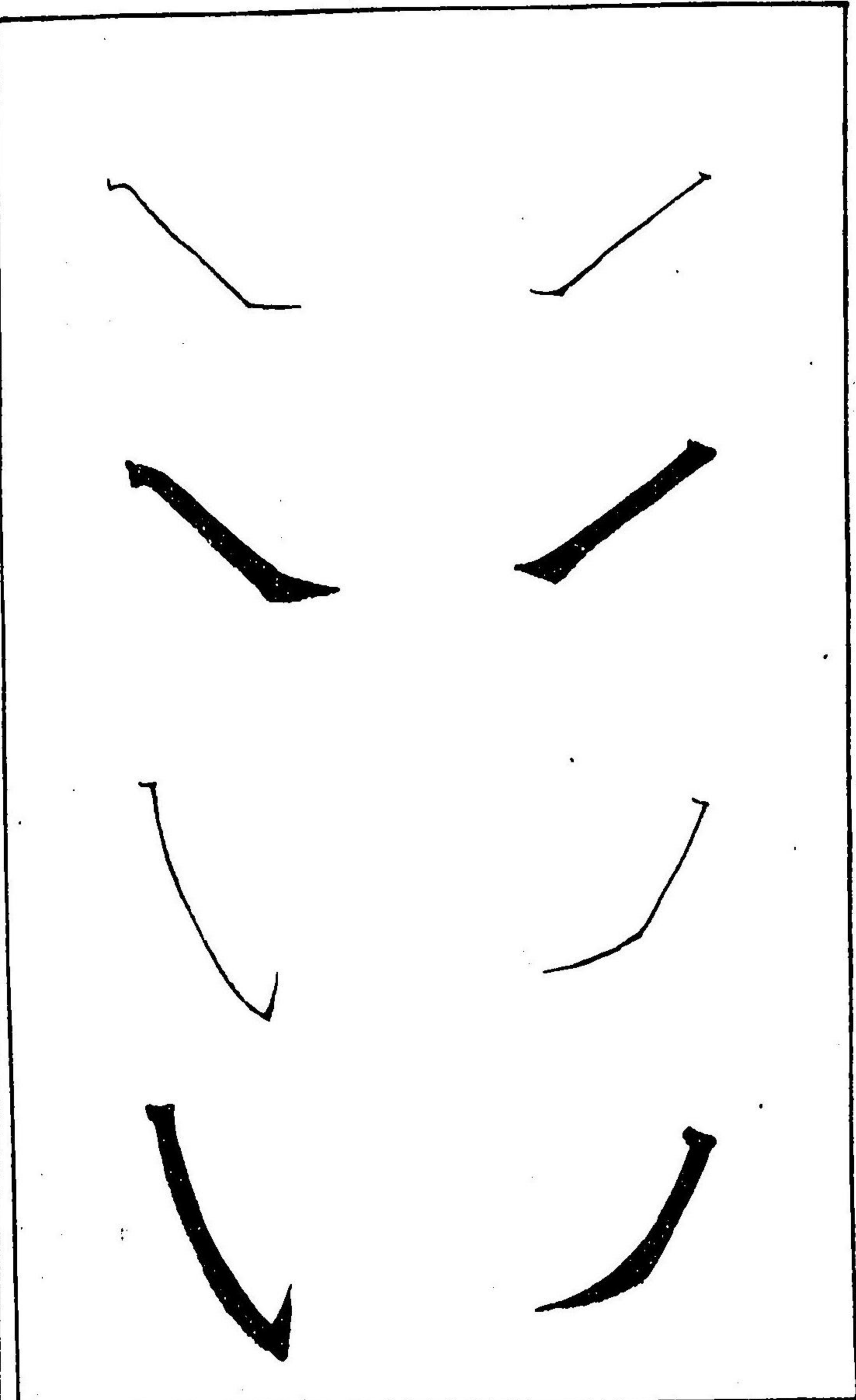
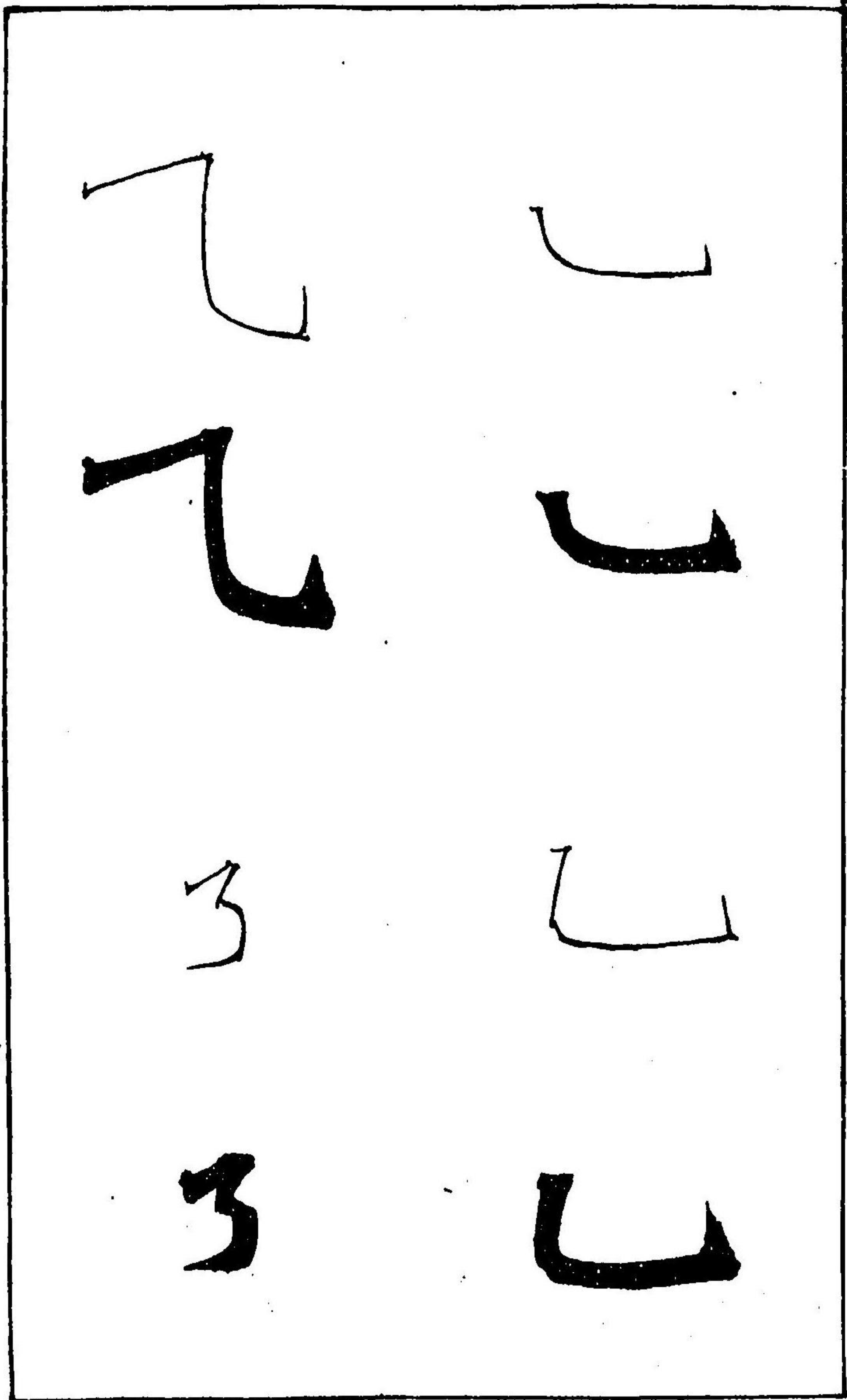


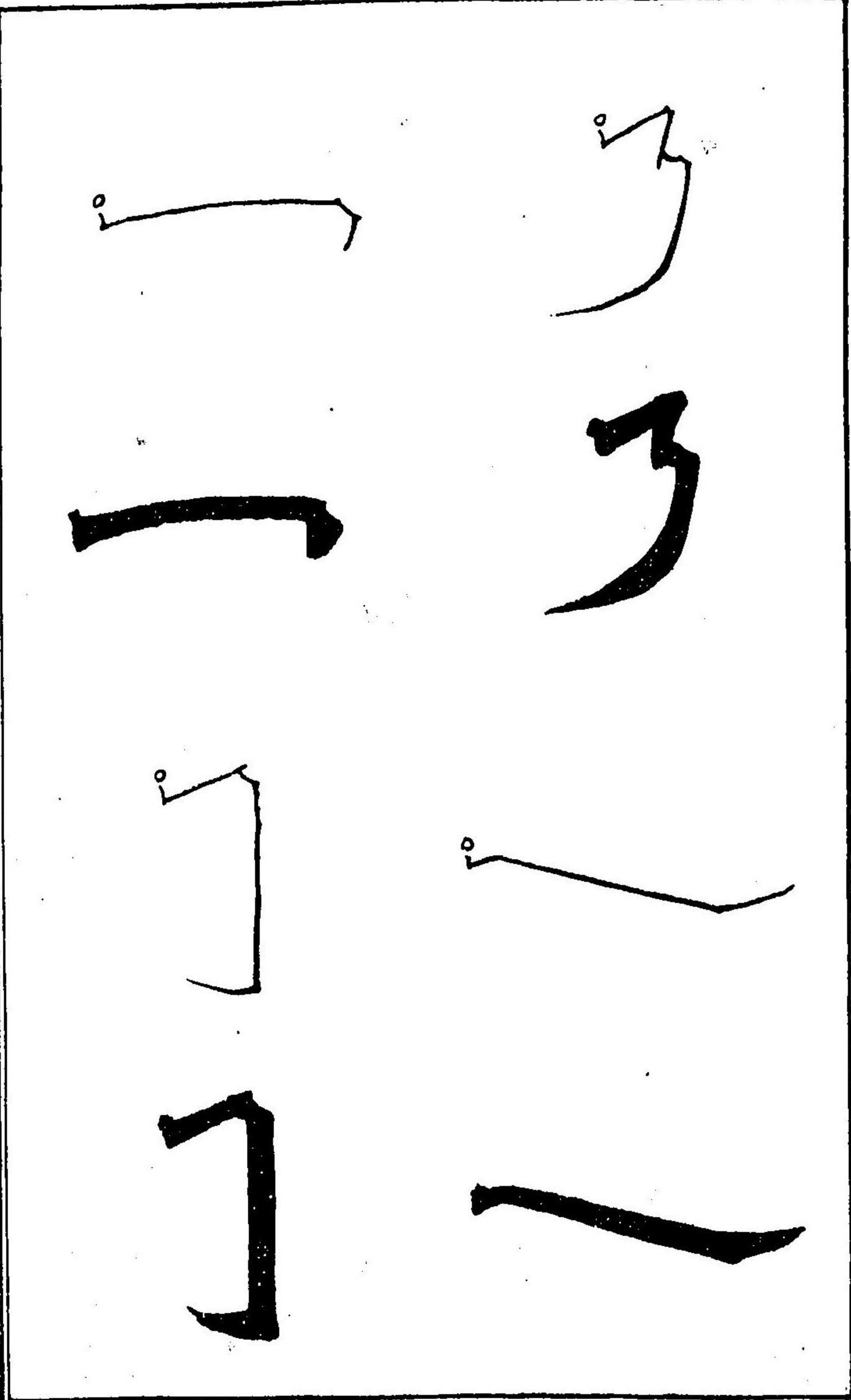
右傍ニ依テハ少シノ變化ハ免レナイガ。此ノ位置ヲ本トシテ作レバ大差ハアリマセヌ。



ノ	ノ
ノ	ノ
ノ	ノ

ノ	ノ
ノ	ノ
ノ	ノ





結體二

凡ソ書ハ前ニ述ベレ如ク。一點畫ニハ一點畫ノ生動アリト共ニ結體ノ上ニ於テモ一字ノ生動アリテ坐スルガ如ク立ツガ如ク伸ルガ如ク屈スルガ如ク行ノガ如ク走ルガ如ク西人相携ルガ如ク三人相揖スルガ如ク又夕片足ヲ以テ立ツモノアリ斜ノ立ツモノアリ或ハ牆ヲ隔テ相對スルガ如キモノアリ或ハ階ヲ隔テ相向フ如キモノアリ千體萬容一ニ名状スベカラズ有ル故ニ生動ト云フ意ヲ以テ文字ヲ作ル時ハ實ニ多趣味ナモノデ面白イ興味ガ有ルガ其結體ノ主眼トスル所ハ何處ニ在ルカト云フニ書法ニ楷ハ立ツガ如ク行ハ草ニモ此ノ立ツトアルガ結體ノ上ニ於テハ獨リ楷ノミナラズ行ニモ草ニモ此ノ立ツトアルガコトヲ本位ニ置カテバナラヌ假へ偏側スルモノモ其偏側スル内ニ立ツ居ルト云フコトヲ本トスルノデス之ヲ人ニ譬フレバ坐レテ居テモ何時マテモ坐レテ居ルモノデハナイ何時カ立タネバナラヌ故ニ坐スル如キ字ニモ生動ノ意ヲ存レテ居ル既ニ立チタル上ハ

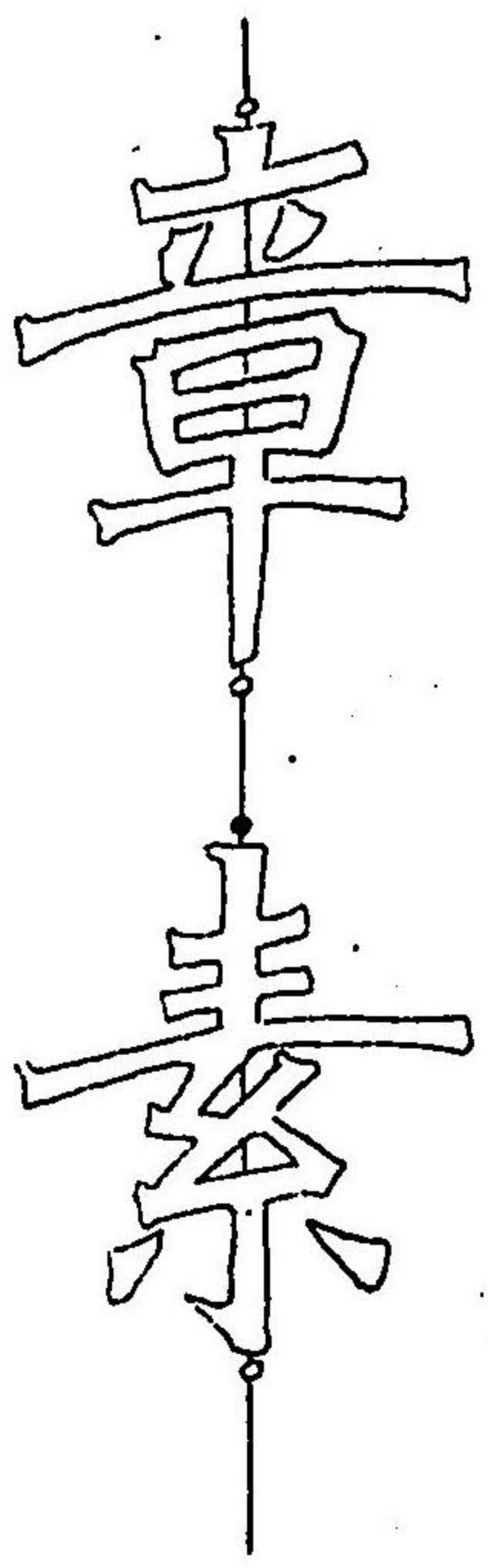
第二

九

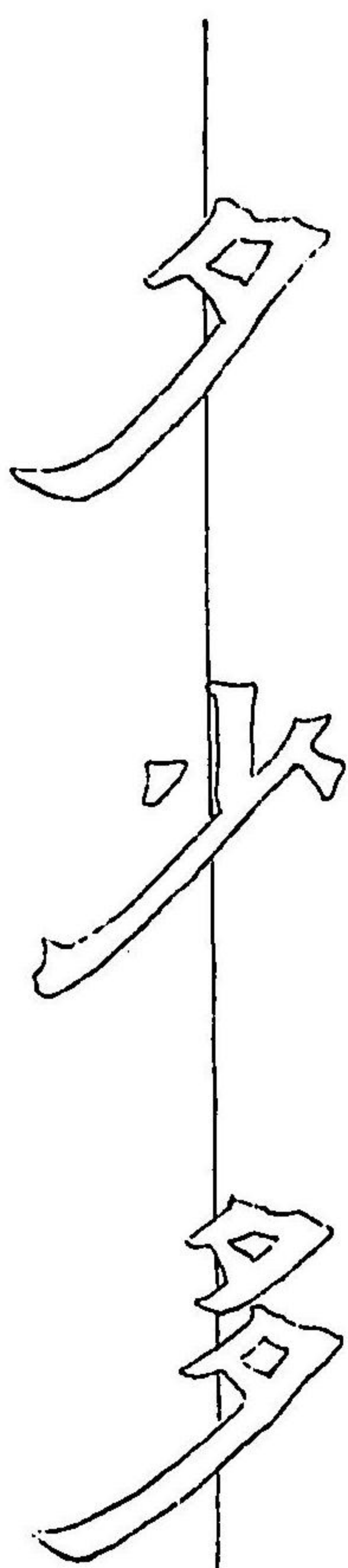
伸ルカ屈スルカ行クカ走ルカスル。其走ル時ハ身體ハ必不前ニ向フ
テ偏側スル。併レ立ツコトハ立テ居ルノデ有ル。若レ顛倒レタラソ
コテ生動ヲ失フ。故ニ何程偏側若クハ屈曲セル字ニモ立ツト云フコト
ヲ本意ニ於テ或ハ左ニ揖レ或ハ右ニ讓リ或ハ上ニ仰キ或ハ下ニ俯レ或
ハ前ニ行キ或ハ後ニ顧ル等ノ意ヲ以テ體ヲ結ブノデ有ルガ生動レ
テ多ク屈曲セル點畫ヲ集メテ體ヲ結ブモノデ有ルカラ。一定ノ法則
ヲ設ケテ之ヲ結ブト云フコトハ固ヨリ出来ナイ。若レ強テ一定ノ法
則ヲ設ケテ之ヲ結ブトキハ所謂レ死版ト稱レテ活字版ノ如キ趣味
ナキモノトナリテ真ノ書トハ謂ハレナイモノニ成ル。然レ初學者
ニハ法則ナキモノトシテ任舞フテハ方針ニ迷ヒマセウ。仍テ孫過庭
ノ至於初學分布但求平正ト云フ語ニヨツテ勤メテ平正ノ體ヲ撰
テ各體ノ文字ヲ列舉スルコトニシ。尚ホ結體ニ就テ至要ナルコトヲ
逐次載セマス。

一字ノ體ヲ載セラ居ル之ニ及スルモノハ金官空雲榮等ノ類ヲ上ノ
人ハ而等ヲ其下ノ覆ヲ居ル。此ヲ書法ニ覆育ト謂ヒマス。直立セ
ル如キ字ハ中申單華華等ノ類デ。中央ノ縱畫ヲ以テ一字ノ體ヲ立ツレ
ル。中足ヲ以テ立ツカ如キ字ハ卑印卯并耳即契等デ下ノ右ノ縱畫ヲ
以テ一字ノ體ヲ立ツレノテ居ル。而足ヲ以テ立ツカ如キ字ハ大夫文
交美其與ノ類デ。下ノ入又ハ等デ一字ノ體ヲ立ツレメ。斜立スル文字
ハ戈幾等ノ類デレシテ以テ一字ノ體ヲ斜立セシメ。其レカラ立テ或ハ
而足或乎足ヲ張ル如キモノハ木木本水永承等ノ類デアル。又タ行ク
ガ如ク走ルガ如キ字ハ少多步之走等ノ類デ。此ト前ノ戈幾等ヲ書法
ニ偏側トモ敬斜トモ謂ヒマス。屈セルモノハ巳巴カ努兄ノ類デアル。牆
ヲ隔テ相對スル如キ字ハ韓樹州小衛等ノ類ニテ階ヲ隔テ相對
ツカ如キ字ハ並臺區壽譽益等ノ類デアル。其レカラ物ヲ抱クガ如キ
字ハ旬鬼勉旭包等ノ類デ。之ヲ書法ニ回抱ト謂ヒマス。四圍ヲ包ム字ハ
囙圓圓圍等デ。下ヨリ上ヲ包ム字ハ幽函等。右ヨリ左ヲ包ム字ハ司旬

等。左ヨリ右ヲ包ム字ハ、匠匠等ノ類ジ。書法ニ此等ノ字ヲ包裏ト謂ヒ
 又。西人相携ルガ如キ字ハ、好短侍林絲護等ノ類ジ。三人相揖スルガ
 如キ字ハ、儲鋤謝等ノ類ニテ。書法ニ此等ノ字ヲ朝揖或ハ顧揖トモ謂
 フ。偏傍相顧シ一體ヲ纏メテ居ルト云フ意デアリマス。此ノ顧揖ト
 云フ事ハ、偏傍二個以上合セテ作ル字ニハ其意ヲ以テ作ラネバ成ラ
 又。假へ其傍ト偏トノ相背スル張北北八犯等ノ字ニ於テモ、顧揖ト云
 フ意ヲ以テ結バナクレハ一字ノ體ガ纏リマセ又。形體ト生動トノ大要ハ
 如此キモノアルガ。尚ホ此他ノ事ハ次ノ編ニ述ルトシテ。結體上必
 要ノモノヲ左ニ圖解シマス。



右ハ上下ノ起應デアアル。即チ上ノ。ガ起下ノ。ガ應デアリマス。起
 ト應ガ如此ク中心ニ在ルトキハ其中間ニ於テ何程左右ニ偏側若ク
 ハ屈曲セルモ一字ノ體ハ正立シテ居ル。中間ニ於テ偏側若クハ屈曲
 セルハ生動ノ變化ニシテ起應ノ中心ニ位スルハ字體ヲ立クシメル
 本位デアアル。故ニ総テノ文字ハ上下ノ中心ニ基キテ作ラネハナラヌ。
 偏側スルモノモ屈曲セルモノモ。上下ノ中心ニ附随シテ偏側若クハ
 屈曲セルモノモ字體ヲ立クシメル事ガ出来ヌカラ。此中心ト云フ事
 ノ心ニ持テ結體スルガ肝要デアリマス。其偏側屈曲セルモノヲ画ニ
 譬フレバ。



左ニ偏ス
ルモノ



右ニ偏ス
ルモノ

如レ此トモノゾ。右ノ二樹ハ地上ニ立テ居ルト見ヘルガセウ。決レテ倒
 レテ居ルモノトモ倒レカ、リテ居ルモノトモ見ヘマスマイ。故ニ文
 字ニ於ケル偏側ト屈曲トハ此意ヲ以テ作ラネバナリマセヌ。更ニ偏
 側ト屈曲トノ文字ヲ上下ノ中心線ト左右ノ地平線トニ依テ左ニ
 偏側

屈曲

偏側



屈曲

右偏側セルモノモ屈曲セルモノモ前ノ樹木ト同ジニ倒レテモノトハ見ヘ無イデセリ。斜立シテ居ルカ跪坐シテ居ルガ如ク見ヘルデセウ

乙
巳
凡
九
充

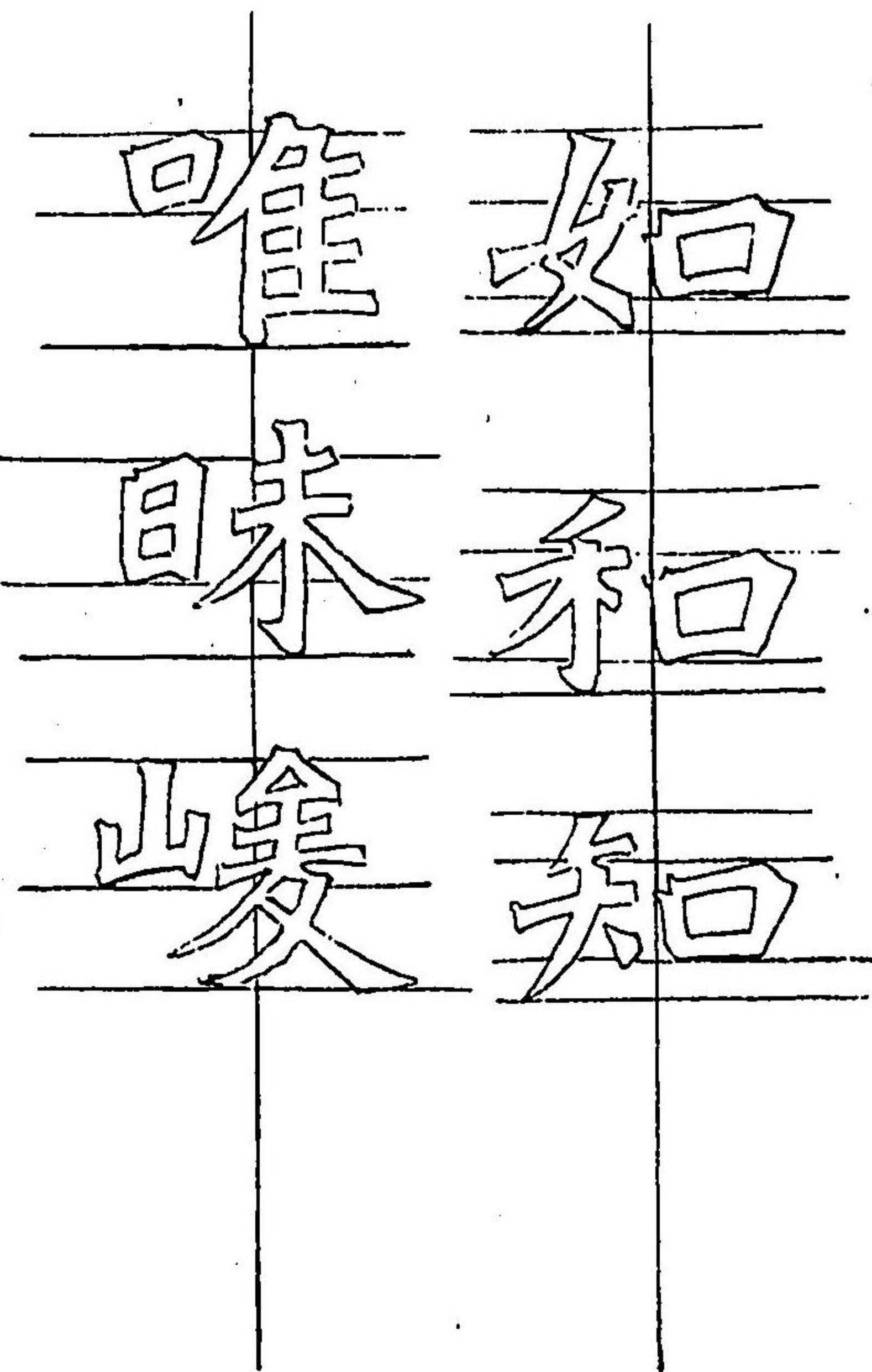
木
大
文
女
典

右第一第二行ノ両足アル文字ハ尾ヲ平列セシメ。第三行ノ符ニ因ノ如ク其尾ヲ平列スル様ニ作ルガ宜シイ。併シ厘毛ニ差ハス様ニ平列セシメヨト云フノデハ有リマセヌ。生ケル腕ヲ以テ生動セル文字ヲ作ルノデ有ルカラ。必シノ差ヲ生ズルコトハ免レナイ。唯ダ平行セ

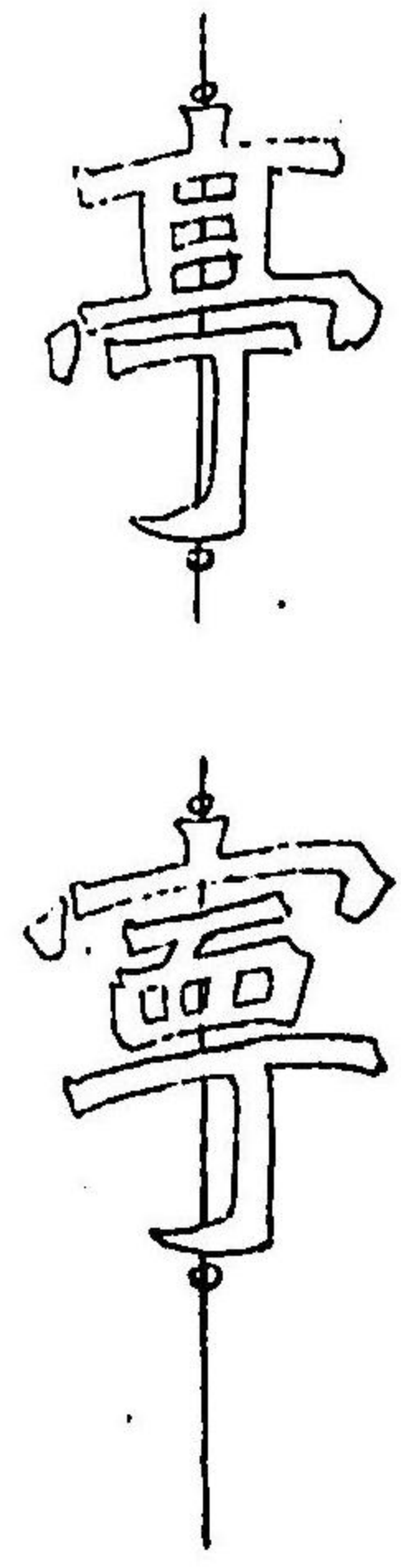
第二

命
各
谷
木
水
承

レメルト云フ意ヲ以テ作レバ宜シイノデス。其レカラ口ノ右傍ニ在
ル字ハ口ヲ下ニ置キ。口日山等ノ小ナル左偏ハ及對ニ上ニ置クガ宜
シイ。其二三ノ例ヲ左ニ。



是亦夕是非トモ右ノ如ク作ラハ成ラヌト云フ譯^ワテハ無イガ。如此
ク作ルトキハ。結體ノ位置ガ宜シイ。



右ノ字ハ下ノ縦畫デ一字ノ體ヲ撐ヘテ立タレメテ居ルノダガ。其縦
畫ハ因ノ如ク少レ右ヨリ引下レテ左ニ躍出シ。其躍出シタル中央ノ
。ト上ノ起筆ノ。ト相應レテ立テ居ルノデアルガ。此等ハ文字ノ生
動ノ意ノ顯レ居ル興味アルモノデアル。若レ下ノ縦畫ヲ字ノ中心ヨ
リ真直ニ引下レタルトキハ。生動ノ意ヲ失イ。趣味ナキモノニナル。字
法ニ偏者正之。正者偏之。トアルガ。此ハ前ニ述ヘレ如ク偏側屈曲セル
文字ニ中心ヲ取テ立トク坐スルト云フ様ニ作り。又夕字體ノ正立正
坐マシ如キモノハ。其中間ニ於テ並王ノ如キ起伏見エ。トカ素ノ如
キ屈曲トガ有ラテ生動ノ意ガ顯レル等ノ事ヲ謂フノデス。又夕右ノ

亭字ト可司升第干永下亨中千乎等ノ字ヲ書法ニ撐柱ト謂ヒ。字之獨
立者、必得撐柱、然後勁健可觀トアルガ。縦畫ガ柱トナリテ其柱ニ撐
レテ勁健ニ立テ居ルト云フコトデス。

八公小兆判

右等ノ字ノ點體ヲ書法ニ意連或ハ合ト謂フアルガ。意連トハ右ノ
字ノ點ハ皆テ左右ニ分レテ居ルガ。併レ左右相對レテ連リ居ル様ニ
作ラネバ一字ノ體ヲ為サヌ。即チ點ハ全ク相離レテ居ルナレトモ意
ハ連リテ居ルト云フ義ニテ合トハ左右ノ點ハ兩目相對スルガ如キ
モノデアルト云フ事デアアル。

呂昌爻

林竹絲

書法ニ上ヲ重。下ヲ並ト謂フテアルガ。之ハ同ジモノ、重ナルモノト

並ブモノトデアアル。其内昌ハ曰ト曰ト合セタモノデ同字トハ曰ハ
レナイガ。形ガ似テ居ルカラコ、ニ加ヘテノデアラウ。呂昌爻等ハ素
ヨリ上ヲ小ニ下ヲ大ニ作ラネバ成ラヌガ。林竹絲等モ二字對立スル
モノデ有ルガ。微左ヲ小ニスルガ配合ガ宜シイ。

坦恒治帖招社拒短

等ノ字ハ左右殆ンド同レ長サデアアルカラ上下モ亦平等ニ作ルガ宜シ
イ。唯テ左偏ノ狭キモノハ右傍ヲ少シク大ニレテ位置ヲ取ルガ宜シ
イ。又夕恤仁ノ二字ハ左偏ノ中央ニ右傍ヲ置クガ宜シイ。

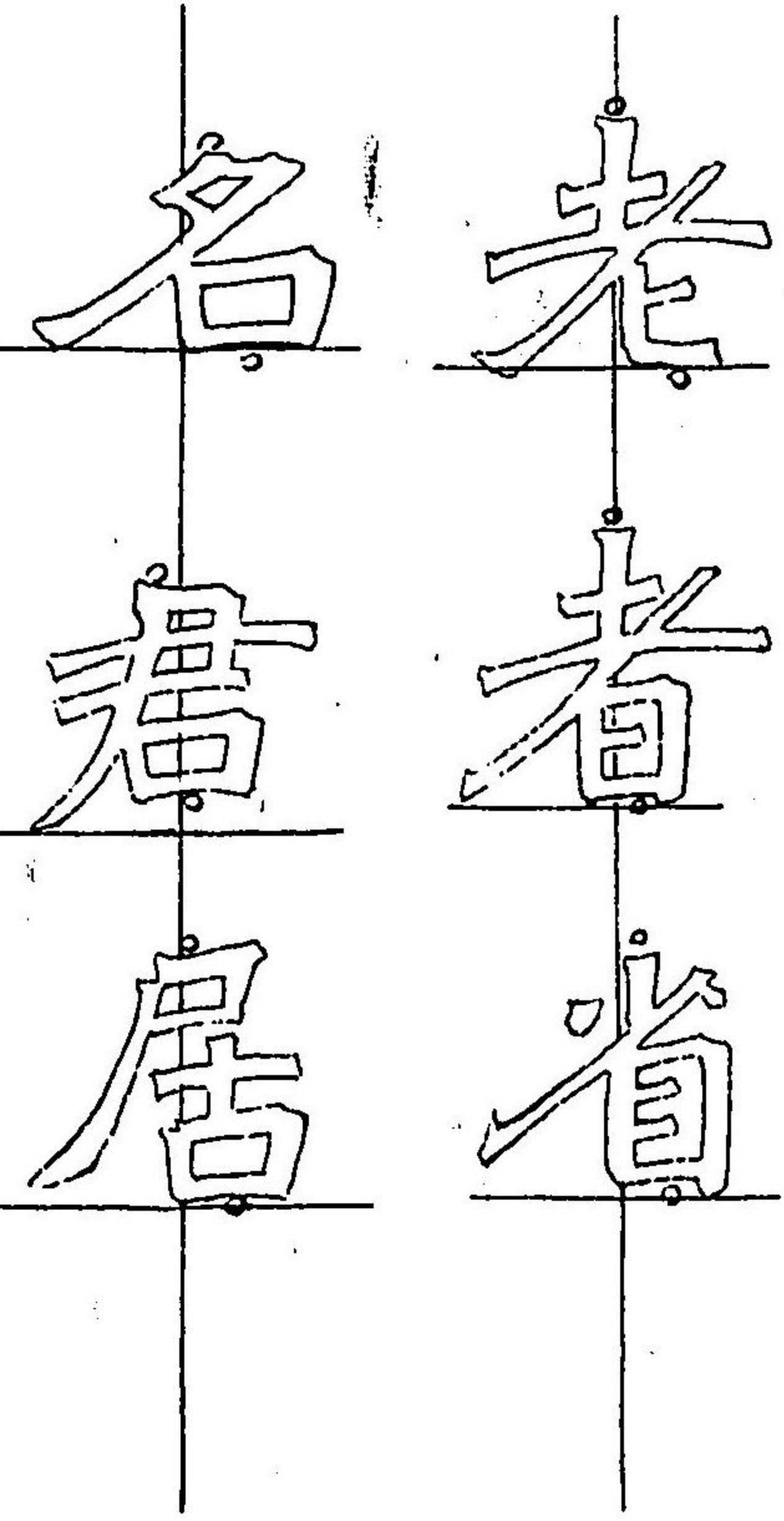
陽賜燭竭瑞

尉對則制即

右ノ上ヲ右讓。下ヲ左讓ト書法ニ謂フテアルガ。上ハ左偏ノ畫少ナク
下ハ之ニ及レテ畫多ナル。右等ノ文字ヲ作ルニハ。左右等分ニシナ
イガ。畫ノ多キ方、讓ルト云フコトデアアル。

力乃石名
居君再冊

右老ハ偏ヲ以テ曲ニ應ジ。其他ノ字ハ偏ヲ以テ正ニ應ジテ居ルガ。皆
 + 掠即チノ。ト下ノヒ。日。日。口。トテ體ヲ立テシメテ居ルノデアルガ。如
 此キ字ハ。起筆ト正筆ト斜ト照應ヲ取テネバナラヌ。
 本編ニ於テ注意ヲ要スル事ハ上述ノ如キモノデアル。此他結體ニ就
 テ九宮法ト云フモノガ有リマス。右等ノ字ハ次ノ編ニ於テ述ベマス。



司
可
月
用

周
至
直
乙

九
已
己
色
毛
凡
也
皇

星戶少多

步小公兆

化北非川

州肖育呂

昌有老者
省吾善喜

允兄充光
先堯加如

知和坦恒

女母每方

勿朋治帖

招社拒短

人 尺 大 天

火 友 及 皮

木 本 末 来

東 皆 習 水

永泉仁恤

今令合冬

各谷粟粟

才第付行

安
要
委
妻

卒
卓
車
畢

衣
辰
良
長

畏
村
將
持

中
林
竹
絲

羽
弱
炎
美

莫
爭
亨
事

好
野
明
嗣

所前帥師

均物陽賜

年岸峯官

字守家富

金會高商

果集葉乘

業則制尉

對京索素

堂壹壹登登

計料亭寧

形彩修基

寒暮禹萬

町 仰 拂 昔

音 普 燠 書

豚 琢 重 童

量 航 恍 腕

初勤黑魚

耳身新軒

衆承齊伊

領瑞竭燭

240
44

印卯郎 其典與興

五十

明治四十二年四月二十日印刷
明治四十二年五月二十日發行



正價金六拾錢

著作者 東京市下谷區谷中初音町四丁目廿六番地 默鳳 前田 圓

發行兼印刷者 東京市神田區佐久間町一丁目一番地 七 條 愷

發行所 東京市神田區佐久間町一丁目一番地 書 道 振 興 會

印刷所 東京市神田區佐久間町一丁目一番地 金 屬 版 印 刷 合 資 會 社

發售所 東京市神田區佐久間町一丁目一番地 西 東 書 房

電話下谷七〇六番
原町口七七三七番

240
474

